

経営比較分析表（令和5年度決算）

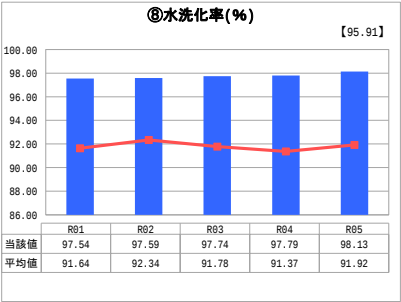
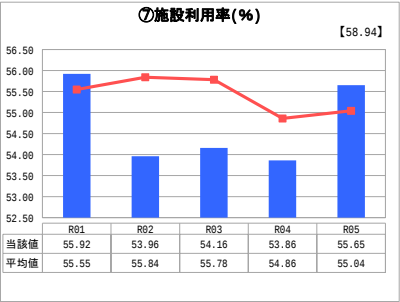
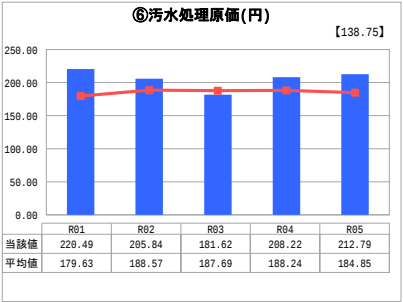
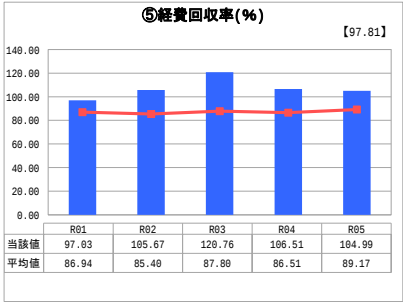
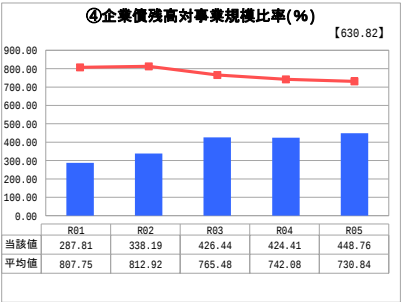
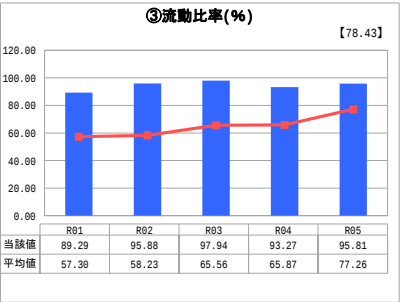
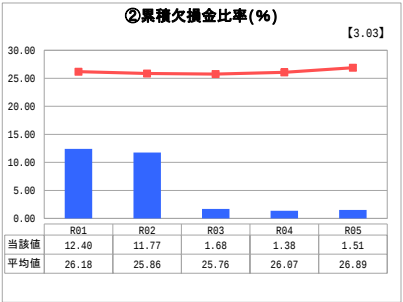
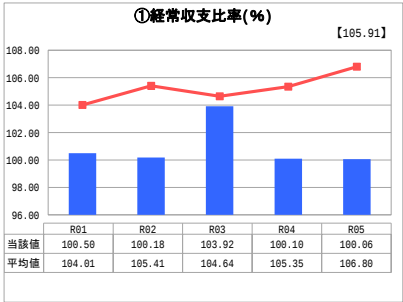
兵庫県 丹波市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	61.13	17.77	67.43	4,262

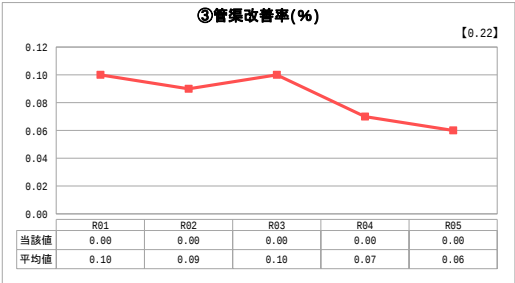
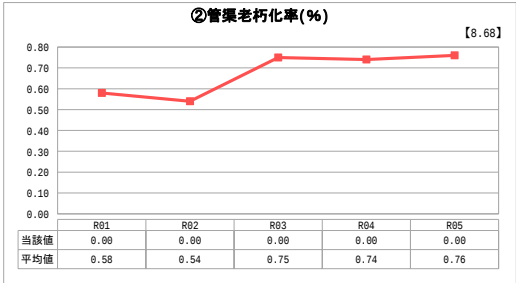
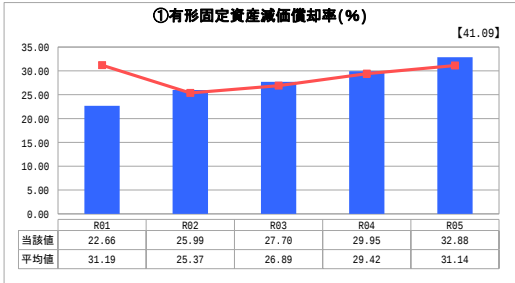
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,897	493.21	123.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,764	4.56	2,360.53

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、類似団体平均を下回っているが、経常収支は黒字である。
②累積欠損金比率は、類似団体平均を下回っているが0%でない。
③流動比率は、類似団体平均を上回っており、支払い能力は安定している。
④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を大きく下回っているが、資本費平準化債により増加傾向である。
⑤経費回収率は、令和2年度の料金改定の影響により類似団体平均を上回っている。
⑥汚水処理原価は、類似団体平均より高くなっているが、横ばいで推移している。
⑦施設利用率は、類似団体平均と同水準である。
⑧水洗化率は、類似団体平均より高く、微増傾向である。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率及び管渠改善率は、耐用年数を経過した管渠がなく、ともに算定されていない。
公共下水道の管渠延長97km（雨水管渠4km含）を有し、その改築更新については、令和16年頃より順次耐用年数を経過するため、計画的な改築更新に向けて財源確保に取り組む必要がある。

全体総括

経営の効率性や財政の健全性を示す指標については、概ね良好な数値であり、健全な経営ができている。
当市は中山間地域に位置しており、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設、コミュニティ・プラントを含めて計28の処理場と管渠約740kmを有している。
これらの下水道施設の法定耐用年数が経過する令和16年頃から、改築更新費用の増大が見込まれるため、ストック・マネジメント計画に基づき処理施設の長寿命化対策を図りながら、「次世代へつなぐ持続可能な下水道」の構築に取り組む必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。